

明日香座 開催

令和3年11月13日(土)

【対象大字】

御園・檜前・檜前緑ヶ丘・檜前緑台・檜前いおり野・阿部山・大根田・栗原・上平田・中平田・下平田・南平田・越・真弓・地ノ窪

明日香座の概要

カーブミラーの設置を積極的に行い、交通の安全、犠牲者の抑止に努めてほしい。

(檜前緑台 男性)

答 予算を確保しているので、新設や修理など具体的な要望をいただければ対応していく。

(総務財政課長)

問 あいさつ運動はボランティアで行っているが、住民の方々に周知していただいているのか。高齢化に伴い、参加者が非常に少なくなってきた。現状を理解いただき、あいさつ運動への参加を促進する広報をしてほしい。

(檜前緑台 男性)

答 平成24年からあいさつ運動を

始めさせていただき、村の広報紙を通じて参加をお願いしている。体力的にしんどく辞めたいという方もいれば、新たに協力したいという方もいる。今後も広くあいさつ運動への参加をお願いしながら継続して行っていきたい。

(教育長)

問 ハザードマップにより危険区域を示してもらっているが、下平田の新池や平田川が溢れそうになった場合、役場に連絡すれば土嚢を置いてもらうなどの対応はしてもらえるのか。

(下平田 男性)

答 土嚢は備蓄しているが、大雨による河川の増水や氾濫など緊急時には村内全域で対応が必要となるため、早急に各所に対応することが難しくなる。できれば大字内の集会所等に事前に配備させていただき、緊急時には住民の皆様で初期の対応をしていただきたい。

(地域づくり課長)

問 下平田もイノシシが出てきている。電気柵等は個々で設置している部分もあるが、補助金等の検討も含めて、対策をお願いしたい。

(下平田 男性)

答 電気柵の補助については今年度予算を確保しており、現在、対象者の条件などを整理している。全額補助ではないが、柵の

新規購入、更新などに係る費用に対して支援させていただきたい。

(観光農林推進課長)

問 全国的に遊休農地の解消が叫ばれている中、村でも耕作放棄地の解消に1千万円の新規予算がついているが、進捗状況を教えてほしい。担い手である子どもは村外へ出て行き、後継者不足の状況下で遊休農地が増えている。所有者の管理責任はあるものの、実際問題として管理できない状況になっているため、農地を借りてもらうことはできないのか。

(地ノ窪 男性)

答 昨年度に農業戦略を策定し、緊急性等を鑑みて優先順位を決めて取り組みを行っており、今年度は稲刈地区の棚田の景観保全として、遊休農地の解消に取り組んでいる。地元耕作者の高齢化や離農されている状況の中、大字内でこれ以上の労力負担は現実的に難しい部分があると推測しており、新たな担い手の確保や企業の参画など、農地利用の新たなモデルを構築し、そこで見いだされた成功事例・モデルを明日香村全体の遊休農地解消の方策として展開していきたいと考えている。農地については基本的には所有者が管理することが原則であるが、様々な理由により耕作できない状況となった場合、奈良県において

は農地の中間管理組織として「なら担い手・農地サポートセンター」があるため、当該制度の活用を検討いただくことが可能となっている。

(観光農林推進課長)

答 農業の担い手問題に危機感を抱いている。高齢化や担い手になる人材が減っているのも確かである。よって、企業や若者、村外の人に担ってもらえる環境づくりが必要である。あわせて、現況判断を行ったうえで農地を里山に戻すということもご理解いただき、取組を進めていきたい。

(村長)

問 真弓の踏切を渡った農免道路のところに暗渠があり、その排水路がL字型に曲がっているため、ゴミがよく詰まり、雨水が溢れる。掃除しようにもグレーチングが重く、さらに交通量も多く危ない。水路の構造も含めて一度現場を確認いただきたい。

(真弓 男性)

答 不法投棄が多く、ゴミがよく詰まる。村も掃除を行っているが追いついていない。現場を確認し、対応していく。

(地域づくり課長)

問 越の集落内の道路について、通勤の時間帯は高取から越の集落内を通り、檀原に抜けていく車が増えている。通学路であり、

今後は牽牛子塚古墳の完成に伴い、通行者も増えることが想定されるため住民も心配している。対策を考えてほしい。

答 村内で交通対策を必要とする箇所が何箇所かある。国道169号線セブンイレブン前の交差点も1つであり、県に対処をお願いしている。他にも見瀬池の開発に伴って道路の拡幅協力も依頼している。駅前周辺の交通対策については、庁内各課に及び問題でもあり、検討を行うよう指示している。(市長)

問 真弓集落内道路舗装や真弓橋の修繕について、平成27年から毎年要望書を出しているが、未だに対応いただけていない。また、飛鳥駅前の交差点から斜め南に抜ける車が多く、高校生もよく歩いているため危ない。大きな事故がないのが不思議なくらい。飛鳥駅周辺の道路整備についても以前から要望を出しているため、併せて対応してほしい。(真弓 男性)

答 予算が限られている中で、危険度のあるところから順番に工事をしており、要望してもらっているにも関わらず対応できていない箇所については申し訳ない。対応しよう。(地域づくり課長)

答 各大字から要望があがっている

る修繕等について、財源となる国県補助をいただける箇所が優先されているのも事実であり、ご理解いただきたい。(市長)

【その他意見】

・イノシシ対策として、防止柵設置により一定の効果が出ているが、個人単位で設置しており費用が高額なため家計を圧迫している。助成金の創設を検討している。助成金だが、条件が付くというみたいだが、条件について聞いている。極力条件については、「村民平等」を第一として検討してほしい。(大根田 男性)

・世界遺産の登録に際して、「新たな規制は発生しない」とのことだが、既存の法制の中での規制が厳しくなるのではないかと不安である。特に鳥獣害防除施設の設置及び雑草木による農地の荒廃改善が厳しく個人に負担が強いられているのではないかと懸念する。(大根田 男性)

・今後ますます観光客が増える見込みがあるため、飛鳥駅を有人に戻すことを要望する。(御園 男性)

・高取国際高校の通学路(川沿い)の街灯が曲がり、線も垂れ下がりが、明かりが暗く、生徒さんが部活動等で帰宅が遅くなる際や一般の住民が通行する際、危険であり県の教育委員会等に連絡を取り、早急に改善してほしい。(真弓 男性)

・高取川の両岸に雑草と木が茂り、雨量が多くなると水の流れも悪くなり、水害の被害の恐れがある。前回、一度土砂等は改善されたが、その後一度も点検に来ていないため、元の状態に戻っている。景観も悪く、依然水も綺麗でめだかも泳いでいたが、自然の美しさが損なわれている。早急に県の中和土木に連絡して改善していただくよう要望する。(真弓 男性)



令和3年11月20日(土)

【対象大字】

岡・島庄・上居・細川・上・尾曾・冬野・畑・入谷・栢森・稲淵・阪田・祝戸・橘・立部・野口・川原

明日香座の概要

問 新庁舎には全ての課が入るか。(岡 男性)

答 現在分散している健康づくり課、教育課、文化財課を含めて全ての課が入る。(総合政策課長)

問 稲淵の水田について、県有地が増加し、耕作放棄地の面積も拡大してきている。その解消に向けた取組をお願いしたい。(稲淵 男性)

答 村では農業戦略を策定しており、これに基づいて耕作放棄地を解消する取組を令和3年度から始めている。県有地については、県と協議、連携しながら解消に向けて一歩踏み出しているところを考えている。(観光農林推進課長)

問 米の価格が非常に安価であるため、村の施策として収益化を図れる取組を実施いただきたい。(稲淵 男性)

答 地域振興公社で「あかねさす」の栽培を始めている。公社が村

の農業の牽引役となり、その成果を踏まえた中で、高価格の米が栽培できるかを令和3年度から検討しているところである。

(観光農林推進課長)

問 県道多武峰見瀬線と県道桜井明日香吉野線の交差点にカーブミラーを設置いただきたい。

(冬野 男性)

答 現地を確認し、道路管理者である県に要望する。

(副村長)

問 細川の村道に入つてすぐの河川沿に竹が生い茂っている。土地所有者も高齢化しており、すぐに除去できない状況にある。対応をお願いしたい。

(細川 男性)

答 道路等の公共物の障害になるものは、諸条件を満たし、土地所有者の了承を得られれば、行政側で伐採が可能である。それ以外は原則的に土地所有者による管理となっている。NPO法人景観ボランティア明日香が地元の方と共に景観に伴う伐採作業を実施している事例もあることから、一度相談いただきたい。

(村長)

問 鳥獣害対策のための電気柵について、村からの援助をお願いしたい。

(立部 男性)

答 電気柵の設置や更新等は、現在検討しているところである。

制度が整い次第、広報紙等で周知する。

(観光農林推進課長)

問 岡寺付近の農免道路において、道路上に草木が覆い被さっている。道路管理者で伐採していただけないか。また、飛鳥川の河底に土砂が堆積し、草木が生い茂っている。大雨による洪水で周辺への被害が想定されることから、伐採等を実施いただきたい。

(岡 男性)

答 飛鳥川については、甘樫丘付近で県に浚渫を実施していただいた。県に対して継続的に河川や県道の適切な維持管理を要望している。

(村長)

問 星野リゾート等の企業を誘致されているが、どのようなメリッ

トが見込まれるのか。

(稲淵 男性)

答 星野リゾートであれば、現時点では宿泊者に村内でお金を使っていただけのメニューが不足しているの、増やす必要があり、皆様も一緒に考えてもらいたい。また一定の雇用も発生すると思われる。経済の波及効果により地域にメリットがある

と見込み誘致を行っている。

(村長)

問 来年度以降、防災訓練を行う際は、自主防災組織と連携を取るなど工夫して実施いただきたい

い。

(橘 男性)

答 来年度の内容については検討中だが、訓練は継続的に実施する予定である。今後の訓練では、自主防災組織が果たすべき役割や村と一緒に取り組める内容にレベルアップしていきたい。

(村長)

問 幼稚園の保育時間について、17時まで延長時間を大きく検討いただきたい。

(冬野 男性)

答 新型コロナウイルス感染症が流行する前は、希望者を対象とした16時30分頃までの放課後活動を実施していた。コロナが収束してきた段階で放課後活動は再開していきたい。それ以降の



時間については、現時点では保育園を活用してもらいたい。

(教育長)

令和3年11月27日(土)

【対象大字】

飛鳥・豊浦・雷・小山・奥山・八釣・東山・小原

明日香座の概要

問 東山大字のマキド池について、土手が崩れてしばらく経つが、対策工事の用途はたっているのか。また、現状通行止め、地元住民は迂回しているにも関わらず、11月の防火パレード時に通行していたが、どのように考えているのか。

(東山 男性)

答 以前の状態で復旧することとなると多額の費用がかかることから、現状の道路のルートを少し変える形での復旧を計画し調整を行っているところである。用地の協力をいただけたら、補助事業等を活用し速やかに対策工事を行いたい。

通行止め区間を通ってしまつたことについては申し訳ない。改めて役場内での周知を行いたい。

(副村長)

問 村では国や県など様々な機関が発掘調査を行っており、発掘されたものがどこで展示されて

いるのかわからない。全体像がわかる展示を考えてもらいたい。

(奥山 男性)

答 村としても来訪者にとつて全体像がわかりやすい説明ができるような仕組みが必要だと考えている。国には高松塚地区で村全体の説明を行う拠点施設を造っていただくよう要望している。飛鳥資料館なども認識を共有して取り組む。

(村長)

問 1歳から3歳程度の子どもの向けの児童公園をつくってほしい。近隣公園は小・中学生向けの施設であり、その他児童公園も駐車場がなく場所も不便である。

(奥山 男性)

答 児童公園の必要性に対し、ご意見をいただいたので、今後検討していきたい。

(村長)

問 赤かめバスを利用しているが、夕方以降の電車からバスへの乗り継ぎが悪い。バスの出発の時間を改善することはできないのか。

(奥山 男性)

答 より利用しやすくなるよう奈良交通に要望する。

(村長)

問 飛鳥川の土砂の撤去をしていただいたが、これは今後定期的に実施されるのか。

(飛鳥 男性)

答 継続的な土砂撤去を県に要望している。併せて状況に応じて、

対応してもらえよう引き続き要望を行っていく。

(副村長)

問 飛鳥川の草刈りや整備について、地元から県に要望を行っているがなかなか対応が進まない。防災の観点からも村が主体で取り組んでもらえないか。

(雷 男性)

答 一級河川であるので、浚渫は奈良県しか行えないし、非常に費用もかかる。地域住民の皆様と一緒に声を上げて要望を行っていくしかない。

(村長)

問 奥山大字を流れている百貫川について、大字で清掃活動しようにも、構造的に難しく、県に要望をしているがなかなか対応してもらえない。

(奥山 男性)

答 村からも県に要望する。

(副村長)

問 県の古都買入地が増えているが、高齢化もあって耕作する者がいなくなってきた。県の草刈り管理だけでは景観を維持できていない。なにか対策をしてほしい。

(奥山 男性)

答 まずは県できちんと管理をしていただくよう要望している。その上で買入地を様々な用途で柔軟に活用できないか、県と協議を行っている。

(総合政策課長)

答 耕作放棄地対策として稲刈期

田で地域を限定しモデル的な取組を行い全村に展開したい。平坦部においてはスマート農業の展開なども考えていきたい。

(観光農林推進課長)

問 農家が減少する中、農地の維持をしていくのは大字だけの力では難しい。実態を伴った施策をお願いしたい。

(飛鳥 男性)

答 地域振興公社では農作業の機械を導入して以前よりもかなり耕作量を増やしていくようにしている。また、村内外を問わず、明日香村で農業をしたいという方々に積極的にやってもらええるような施策ができるよう取り組んでいる。非常に難しい問題に取り組んでいるので知恵や協力をお願いしたい。

(村長)

問 日々仕事をしながら農業をやると思っても機械を持っていないし、ノウハウもない。そんな人が気軽に相談したり、指導を受けたり作業を依頼できるような仕組みはできないか。

(奥山 男性)

答 地域振興公社で農業機械のレンタルや作業受託を行っているので活用いただきたい。

(観光農林推進課長)

答 気軽に農業のことを聞け、教えてもらう仕組みなどを検討していきたい。

(村長)

【その他意見】

・農林産物直売所の前の道路が広く、道路を渡るのが危険である。新たな信号機を付けるのは難しいかも知れないが、安全対策をしていただきたい。

(豊浦 男性)

・車座について、出席者が相談、提案に対して具体的な回答は難しくても、いつまでに回答するなど期限だけでも結論として出してほしい。

(豊浦 男性)

・大字内の村道の経年劣化に伴う舗装工事はいつしてもらえるのか。

(豊浦 男性)

・世界遺産登録について、現在の進捗状況や具体的にどうするか。

(小山 男性)

